

嘉麻市熊ヶ畑地域将来計画



令和 3年 3月策定

熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会

目 次

はじめに

1. 地域の現状	P 1
2. 地域の課題	P 2
3. 地域の課題整理	P 3
4. 具体的な取組内容の検討	P 4
5. 活動拠点	P 5
6. 地域の活動スケジュール	P 6

参考資料 P 7～P 14

資料① 熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会 委員名簿

資料② 活動内容（形成委員会 開催日）

資料③ 熊ヶ畑活性化センター・いこいの家白雲荘 位置図

資料④ 消防用設備等配置図（嘉麻市山田活性化センター）

資料⑤ 山田活性化センター 来客数

資料⑥ いこいの家白雲荘 利用者数

資料⑦ 熊ヶ畑小学校児童数

はじめに

北京五輪のあった2008年の夏、空家の見学に熊ヶ畑へ初めて来た当時28歳の僕に偶然居合わせた大里初男さん（故人）が熊ヶ畑のことを色々と優しく僕に聞かせてくれました。

田舎での暮らしに多少なりとも不安がありましたが、初男さんとのあのひと時があったから、僕は妻とともに熊ヶ畑へ引っ越してきました。それから約12年、日々の暮らしや様々な行事で熊ヶ畑の皆さんに支えられ、今もこうして心豊かに暮らすことができています。みずみずしい農作物、四季を感じる様々な行事など、目の前にある穏やかな暮らし。それはあたり前のものではなく、地域を想う人々の手によって作り上げられ、そして受け継がれてきたものです。熊ヶ畑での日々を通じ、まさに「街は人がつくる」と、僕は思いました。

この暮らしがこれからも変わらずに続けば幸せです。しかし20年後、30年後を想像したとき。皆さんの目には熊ヶ畑の景色はどのように映るでしょうか？

後述のデータからもわかるように、生活様式などの変化から人口減少、高齢化が進みこの集落での生活脅かされることも予想されます。これらの課題をまとめ、地域の将来のため「小さな拠点形成促進事業」協議の委員会を立ち上げました。委員は各層からなる15名で構成し、会議を重ね「地域将来計画」を今回策定しました。

委員のみなさまには会議に出席し、貴重なご意見を提案していただき感謝申し上げます。

今後この「地域将来計画」に基づいて行動していきたいと思えます。

熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会

委員長 小野田 隆太郎

1. 地域の現状

熊ヶ畑地域は、嘉麻市の東南端に位置して一部朝倉方面や田川市郡の通過地点となっており、自然環境は素晴らしいものがあり、また地域のつながりも強く多くの住民が地域を誇りとしている。

しかしながら生活様式の変化から地域内全体の人口が減少しており、また高齢化率も51.4%と高く、地域の後継者不足の問題が深刻である。

熊ヶ畑地域において将来にわたり持続的に暮らせる拠点づくりを行うには、各種生活機能が集約され、地域サービスが循環できる利便性の高い拠点の選定が重要となるが、幸いに熊ヶ畑地域には、山田活性化センターや貴重な深井戸水の温泉施設白雲荘があり、更に県内唯一の木造校舎である熊ヶ畑小学校については通学区域外からの転入を可能とする小規模特認校に認定されている。

これらの自然と調和する施設を核として、生活様式を再認識し、見直す機会がこの事業の成果となる。

山田活性化センター



熊ヶ畑小学校



形成委員会において検討された意見を基に抽出した地域の現状及び課題、地域課題の整理については以下のとおりとなりました。

2. 地域の課題

(1) 人口問題

- ① 地域で働く場所がなく、また買物する場所も無いため若者が流失している。
- ② 人口減少により空家が増えることで危険家屋、防犯対策が必要となる。
- ③ 農業後継者がいなくなることで土地管理が出来なくなり、耕作放棄地が増える。
- ④ 高齢者世帯や独居世代が増えることで安否確認が必要となる。

地域の人口（合併により平成16年度以前の行政区別人口データは無し）

(平成17年度)

行政区	熊ヶ畑第1	熊ヶ畑第2	熊ヶ畑第3	全体	割合
年少 (0～14歳)	22	23	12	57	8.2%
生産年齢 (15～64歳)	131	163	114	408	58.6%
老年 (65歳以上)	80	72	79	231	33.2%
合計	233	258	205	696	

(令和元年度)

行政区	熊ヶ畑第1	熊ヶ畑第2	熊ヶ畑第3	全体	割合
年少 (0～14歳)	8	9	12	29	5.8%
生産年齢 (15～64歳)	71	81	62	214	42.8%
老年 (65歳以上)	90	91	76	257	51.4%
合計	169	181	150	500	
R1-H17 (人口増減)	-64	-77	-55	-196	

(2) 既存施設の現状

①熊ヶ畑活性化センターは、都市と農村交流、地域農業と農村の活性化に資する施設として整備されたが老朽化のため、改修が必要である。

また、地域の組合において指定管理を受託しているが後継者がいないため、今後の運営面に課題がある。

②白雲荘は市内唯一の温泉施設であるが、施設の老朽化とPR不足もあり市外からの利用客が少ない状況である。

また、市の個別施設見直し計画では廃止、除却施設となっているが、地域においてはプール跡地とともに活用を検討している。。

(3) その他

①熊ヶ畑小学校は嘉麻市唯一の小規模特認校の認定を受けた学校であるが、少子化により地域内の児童数は減少しており、地域の後継者不足が懸念される。

②熊ヶ畑地域は、郷土愛が強い住民が多いが、少子・高齢化により地域行事やイベント等の継続が困難となっている。

3. 地域の課題整理

(1) 地域課題への対策（課題解決のための必要事項）

①活性化センターの活用

地域の重要な拠点である活性化センターについて地域全体で見直し、具体的な利活用方針や地域運営組織形成の検討が必要である。

②温泉（白雲荘）の活用

市内唯一の温泉施設をPRし、活性化センターと一体で交流人口の増加のための取組を検討する必要がある。

③熊ヶ畑小学校の活用

令和元年度に大規模改修が完了した校舎及び講堂を活用し、児童、保護者から高齢者まで地域全体で地域の学校としての取組を継続し、市内外問わず熊ヶ畑小学校の素晴らしさをPRする。

(2) 地域の取組の優先順位（地域づくりの目標設定）

- ①地域活動拠点の選定
- ②地域運営組織の形成
- ③白雲荘利活用の検討
- ④熊ヶ畑小学校との連携

4. 具体的な取組内容の検討

(1) 地域の活動内容

①既存施設の利活用

活性化センター

- ・交流スペースの設置、食堂設置（弁当販売）
- ・体験型宿泊施設
- ・事業運営に関する後継者の発掘、育成
- ・白雲荘、プール跡地を活用しての連携事業の検討
- ・その他（トイレ改修による休憩所の設置、特産品開発、ミニコンサート）

白雲荘

- ・市内唯一の温泉施設のPR
- ・観光客の誘致（足湯の設置）
- ・プール跡地の利活用
- ・指定管理受託の検討

熊ヶ畑小学校

- ・嘉麻市唯一の小規模特認校の特性を生かす
- ・地域のつながりの強さ（地域合同運動会、田植え・稲刈り体験、餅つき大会、敬老会、獅子舞、しめ縄づくり、熊っ子発表会等）
- ・山村留学制度の検討（教育委員会への提案）

②組織における役割の検討

- ・地域運営組織形成の検討
- ・法人化の検討

(2) 行政の支援内容（補助金等の財源検討）

- ・次年度以降の取組について継続支援の要望。
- ・地域の目指す方向性に応じた補助金等の財源の検討。

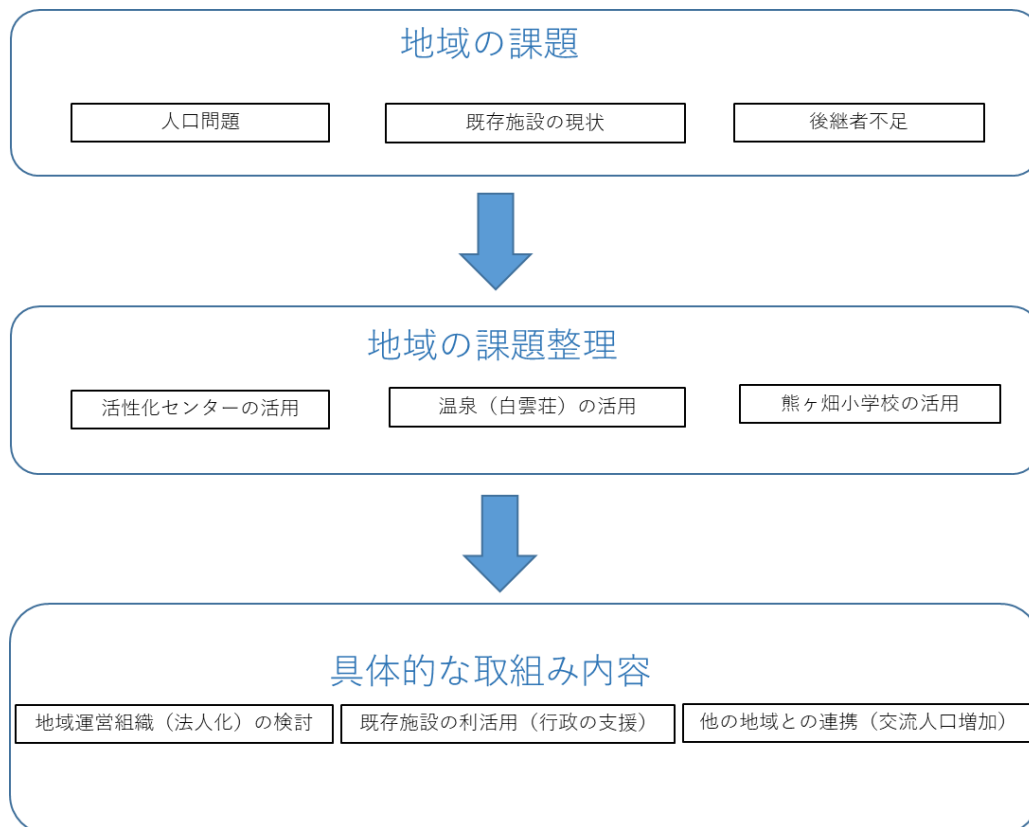
(3) 他の地域との連携（交流人口増加、定住人口増加）

- ・定住人口を増やす（空家の活用）
- ・農業の担い手募集
- ・山村留学体験

5. 活動拠点

上記の検討に基づく取組を行うにあたり、熊ヶ畑活性化センターを中心とした周辺資源の利活用を行うことが熊ヶ畑地域の活性化につながる。

地域課題解決に向けての取り組み










（地域の取組を実施するには活動の中心となる拠点が必要）



（熊ヶ畑活性化センターを核とした地域資源の活用）

6. 地域の活動スケジュール（短期・中期・長期）

- ・短期……地域将来計画策定、活動拠点の選定
- ・中期……地域運営組織の確立、各種サービス機能の集約
- ・長期……地域特産品・加工品の開発、大学・企業等の協力、仕事・収入の確保

		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
短期	地域将来計画策定									
	活動拠点の選定									
中期	地域運営組織の確立									
	各種サービス機能の集約									
長期	地域特産品・加工品の開発									
	大学・企業等の協力									
	仕事・収入の確保									

参考資料

資料① 熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会 委員名簿

資料② 活動内容（形成委員会 開催日）

資料③ 熊ヶ畑活性化センター・いこいの家白雲荘 位置図

資料④ 消防用設備等配置図（嘉麻市山田活性化センター）

資料⑤ 山田活性化センター 来客数

資料⑥ いこいの家白雲荘 利用者数

資料⑦ 熊ヶ畑小学校児童数

熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会 委員名簿

氏 名	選 任 区 分	役 職
小野田 隆太郎	熊ヶ畑第一行政区 区長	委員長
石橋 和稔	熊ヶ畑第二行政区 区長	委 員
田中 芳浩	熊ヶ畑第三行政区 区長	委 員
山崎 和代	女 性 委 員	委 員
筒丸 公子	女 性 委 員	委 員
平嶋 艶子	女 性 委 員	委 員
山田 佳世	女性ヤング世代	委 員
大田 晴美	女性ヤング世代	委 員
森本 祥予	女性ヤング世代	委 員
平嶋 淳一	子ども会	委 員
大里 清己	活性化センター	委 員
大里 和久	トロッコ実行委員	委 員
平嶋 勝博	農業・畜産	委 員
笹尾 俊郎	民生委員	委 員
大田 守	公民館長	事務局

令和3年3月14日現在

活動内容（形成委員会 開催日）

（1）熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会

- ・第1回形成委員会 8月2日（日） 10：00～

会議内容：委員・行政自己紹介、小さな拠点づくりの概要説明、事業スケジュール確認

- ・第2回形成委員会 8月30日（日） 10：00～

会議内容：課題の抽出

- ・第3回形成委員会 9月26日（土） 19：00～

会議内容：課題の整理

- ・第4回形成委員会 10月25日（日） 10：00～

会議内容：地域将来計画骨子（案）について検討

- ・第5回形成委員会 11月29日（日） 10：00～

会議内容：「小さな拠点」形成に向けて（運営計画、設立準備、資金調達等）

近畿大学産業理工学部 経営ビジネス学科 飯島教授

- ・第6回形成委員会 令和3年1月31日（日） 10：00～

（新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言のため延期）

- ・第6回形成委員会 令和3年3月14日（日） 10：00～

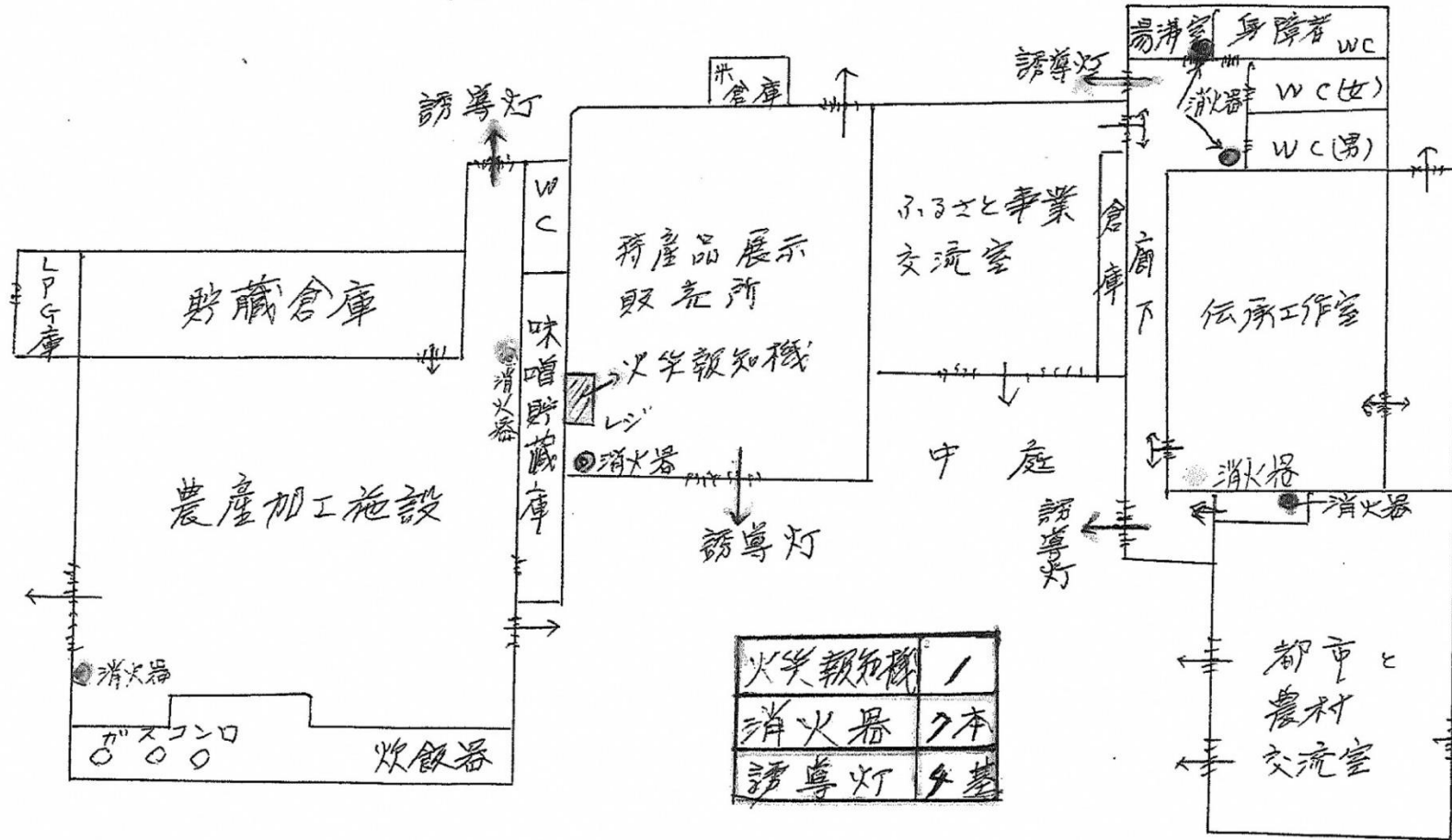
会議内容：地域将来計画の決定、次年度以降の取り組みについて

熊ヶ畑活性化センター・いこいの家白雲荘 位置図



消防用設備等配置図

(嘉麻市山田活性化センター)



火災報知機	1
消火器	7本
誘導灯	4基

(イベント広場)

山田活性化センター 来客数

年 度	来客数 (人)	前年比
H 2 2 年度	16,454	
H 2 3 年度	16,944	490
H 2 4 年度	14,661	△2,283
H 2 5 年度	13,780	△881
H 2 6 年度	15,443	1,663
H 2 7 年度	16,558	1,115
H 2 8 年度	15,504	△1,054
H 2 9 年度	17,187	1,683
H 3 0 年度	18,758	1,571
H 3 1 年度	18,068	△690
合 計	163,357	
H31－H22	9.8%増	1,614

いこいの家白雲荘 利用者数

	H28	H29	H30	H31
4月	5726	5365	5477	5342
5月	5614	5269	5376	5187
6月	4825	4880	5176	5026
7月	4952	4892	4594	4978
8月	4888	5125	4674	4706
9月	4572	5142	4843	4894
10月	5192	5607	5038	5052
11月	5299	5444	5138	5261
12月	5254	5667	5562	5463
1月	6292	6283	6174	5969
2月	5470	5147	5536	5636
3月	5740	1478	6092	5847
計	63,824	60,299	63,680	63,361

嘉麻市立熊ヶ畑小学校 児童数

(5月1日調査)

学年 年度	1	2	3	4	5	6	合計
H23年度	3	1	1	4	8	6	23
H24年度	5	3	1	1	3	7	20
H25年度	1	5	2	1	0	3	12
H26年度	1	0	5	2	1	0	9
H27年度	2	2	1	5	2	1	13
H28年度	3	2	3	1	5	2	16
H29年度	3	3	3	4	1	7	21
H30年度	5	3	3	3	5	1	20
H31年度	2	5	3	3	3	5	21
R2年度	2	2	5	3	3	3	18

